



## 一般社団法人幹 幹在宅看護センター 管理者 和田看護師寄稿

幹が共生型の看護小規模多機能型居宅介護支援事業を始めたのは令和2年6月、ちょうど新型コロナウイルス感染症の第一波がおさまっていた頃でした。以前から、NICUを退院した医療的ケアが必要な0歳の子どもたちに訪問看護をおこなう中で、家族、特に母のレスパイト支援と、就労支援の必要性を感じ、共生型の児童発達支援をはじめました。基本の標準予防策を徹底し、マスク、手洗い、換気、そしてスタッフの検温、三密を避けることに注意し、体調のすぐれないスタッフは休んでもらっています。

経鼻チューブ、胃ろう、気管カニューレ、呼吸器など医療的ケアがあっても、集団の中で確実に成長発達していく子どもたちの変化に驚かされる日々です。その子のペースでゆっくり成長していく姿は、子どもの成長する力、見ること、聴くこと、触ること、香ること、味わうこととともに感じ、共有することでどんどん発達が広がっていくことを実感しています。一日も早いコロナの収束を願いつつ、感染予防対策をしながら子ども同士が触れ合う場を大切にしていきたいです。

一般社団法人幹 幹在宅看護センター  
管理者 和田 聖子



### 和歌山県難病・子ども保健相談支援センターのご案内

難病・子ども保健相談支援センターは、難病患者や長期療養児そして家族の方々が地域で安心して暮らしていくお手伝いをするために設置された保健・福祉等の相談機関です。

医療や福祉の役立つ情報をお知らせするとともに、療養生活や就労についての不安や悩みの相談をお受けしています（相談は無料。秘密は厳守いたします）。

相談時間 : 9時～17時45分 (土、日、祝日、年末年始は除く)  
相談方法 : 来所または電話相談  
電話番号 : 073-445-0520  
所在地 : 和歌山市紀三井寺811-1 県立医科大学附属病院 3階



## 和歌山県 難病・子ども保健相談支援センターNEWS



〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1  
(和歌山県立医科大学附属病院3階)  
TEL:073-445-0520  
FAX:073-445-0603

e-mail e0503021@pref.wakayama.lg.jp

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050302/050300/kodomo/index.html>

ひとりだけ、家族だけで悩まないで・・・  
一度相談してみませんか？



### ◇難病患者の就労支援セミナーを開催しました◇

難病のある方が、仕事をするためには、ご本人にあった「はたらき方」を考えることが大切です。今回のセミナーは、実際に難病のある方の支援に携わっている方と、テレワークを実践されている方からお話を聞きました。患者、家族、関係者など15名が参加し、病気による働き方やテレワークによる就労についての理解を深めました。参加者からは、「実践されている先生からのお話をきけてよかった。」、「わかりやすく有意義な講演でした。」等の感想をいただきました。

開催日：令和3年1月31日（日）

場 所：和歌山県JAビル

- 内 容：1. 講演 「難病のある方の就労支援について」  
講師 和歌山障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 氏原 嗣朗 先生  
2. 講演 「テレワークによる就労について」  
講師 TETAU理事テレワークコーディネーター 森脇 碌 先生

### テレワークの種類



#### 雇用型テレワーク

在宅勤務として雇用されたり、雇用先に在宅勤務を認められてテレワークする形。「在宅勤務 求人」などで検索。

#### 自営型テレワーク

##### 単独企業との契約

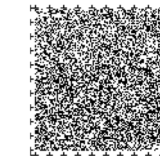
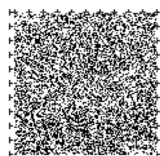
業務委託契約となるが、単独の企業と契約をして専属として仕事をする形。専門のエージェントを介して契約。

##### 単発型

案件ごとに複数の企業と業務委託契約を交わしてお仕事する形。クラウドソーシングなどを介して契約。

安定・スキルや経歴必要・企業のルールに従う

不安定・スキル不要・自由



## ◇病気の子ども 支援者研修会を開催しました◇

「病気や障害のある子どものお口を育てる支援について」

子供たちが健やかに成長し、より安心して過ごせるよう、病気や障害のある子供の口腔ケアについての研修会を開催しました。

臨床経験豊富な講師から病気や障害のある子供たちの歯科治療中の麻酔などの特別な配慮について、長期療養児に多い疾患や障害の口腔面での特徴・注意点や、口腔衛生を保つための家庭でのケア方法、誤嚥予防や新型コロナウイルス感染予防にもなる「ぶくぶくうがい」等、ご講演いただきました。また歯科受診の際に役立つアドバイスもいただきました。

参加者の方からは、「各障害における口腔の特徴や注意点などの内容が参考になった。」、「日頃から、予防が大切であり、口の中を触れられることに慣れさせておくことがしやすくなること分かりました。」等とても勉強になったとの感想をいただきました。

開催日：令和3年1月14日（木）

場 所：和歌山ビッグ愛

講 師：一般社団法人和歌山県歯科衛生士会 障害者歯科認定歯科衛生士 山東 理沙 先生

参加者：10名

### 障害者歯科で応用される行動調整法

#### ●意識下の歯科治療

- ①通常の方法
- ②行動療法（行動変容法）：不安軽減法、行動形成法
- ③体動コントロール：反射抑制姿勢、徒手、レストレーナー
- ④精神鎮静法：笑気吸入鎮静法、前投薬、静脈内鎮静法

#### ●意識消失下の歯科治療

深鎮静法、全身麻酔（入院、日帰り）

### Down（ダウン）症候群

1. 歯の先天性欠如 23%～47%に認める
2. 乳歯・永久歯の萌出遅延  
萌出順序・時期が不規則となることが多い
3. 乳歯の晩期残存
4. 歯の形態異常 歯冠は小さく、歯根は短い
5. 歯列不正
6. 狭口蓋
7. 口唇乾燥 厚みがあり、乾燥している
8. 舌の異常 筋緊張の低下、舌が大きく見える



## ◇新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止◇

令和3年2月23日（火・祝）ピア・サポート研修会

令和3年2月27日（土）和歌山県難病の子ども家族会主催 学習会



## 来年度開催予定の事業

### ◇難病患者就職サポーター出張相談会◇

就職を希望する難病患者に対して、その症状の特性を踏まえたきめ細かな就労支援や、在職中に難病を発症した方の雇用継続等の総合的な支援を行います。難病患者就職サポーター（ハローワーク）による出張相談会を開催します。

開催日：毎月第1火曜日（4、5月は、第2火曜日）

令和3年4月13日、5月11日、6月1日、7月6日、8月3日、9月7日、  
10月5日、11月2日、12月7日、令和4年1月4日、2月1日、3月1日

① 13:30～14:30 ② 14:45～15:45

場 所：難病・子ども保健相談支援センター相談室

対象者：難病患者・家族・事業主等

定 員：各回2組（相談無料）

\*2日前までに電話かFAXで、予約必要。



### ◇その他の開催予定事業◇

令和3年6月13日（日）（子供）心疾患講演会（会場：田辺市）

令和3年9月下旬 ピア・サポート研修会（会場：和歌山市）

- ・詳細が決まり次第、詳しい内容をホームページなどへ掲載します。他にも開催を計画している事業があります。
- ・時節柄、中止や変更になる場合があります。
- ・問い合わせ・申し込みは、和歌山県難病・子ども保健相談支援センターまで。

## ～STOP！コロナ差別～誹謗中傷等が行われない社会の実現を目指して



和歌山県においても、新型コロナウイルスに対する不安やおそれから、感染者やその家族、医療従事者等へのデマや誹謗中傷が発生しています。

このような状況を踏まえ、誹謗中傷等が行われない社会の実現を目指し、令和2年12月24日から「和歌山県新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等対策に関する条例」を施行しています。

県では、新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等をなくすための啓発や、県民の皆さんからの相談への対応などに取り組んでいます。

県民の皆さんには、不確かな情報や根拠のない噂に惑わされず、県や市町村などの正しい情報に基づき、新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等を行わないよう、人権に配慮した行動をお願いします。

### コロナ差別相談ダイヤル【和歌山県人権政策課】

TEL 073-441-2563 / FAX 073-433-4540

受付時間 月～金 9:00～17:45（祝日・年末年始除く）

※相談窓口では、誹謗中傷等に対しどのように対応すべきかなどの助言を行います。

